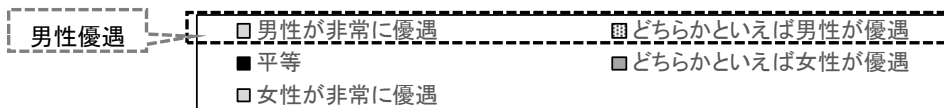
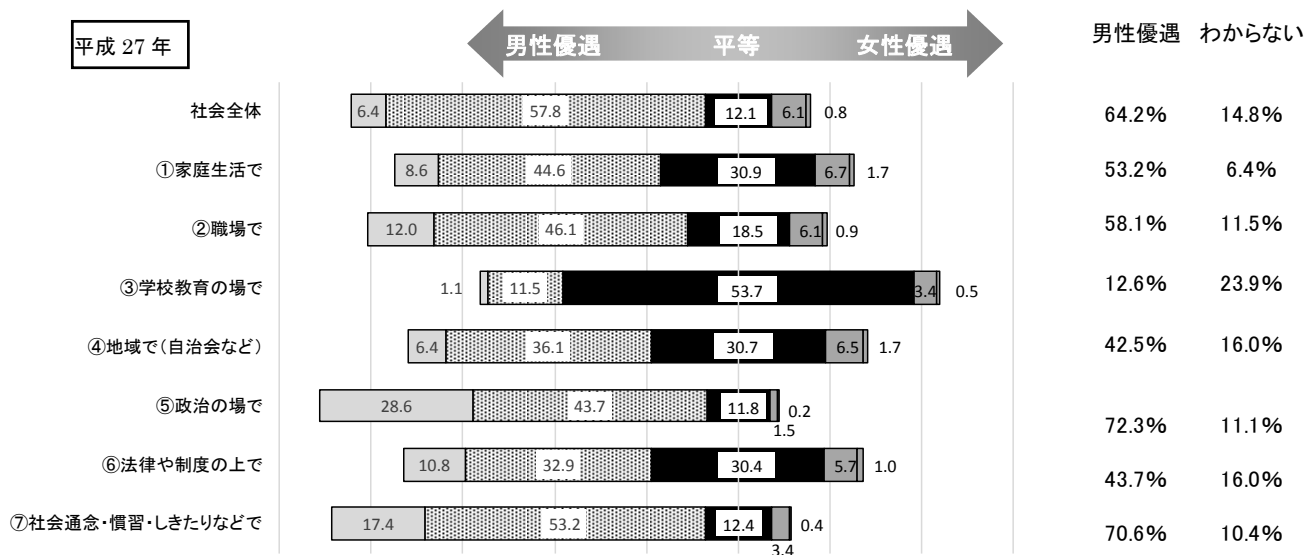


平成 27 年度男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果【概要版】

各分野別における男女の平等感

★問 1 & 問 2：男女が平等であるか。（件数 平成 17 年=1488 平成 27 年=1646）

平成 27 年



社会全体

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|---------|
| 男性優遇 計 | - | 64.2% |
| 平等 | - | 12.1% |

②職場で

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|----------|
| 男性優遇 計 | 66.0% | ↓ 58.1 % |
| 平等 | 19.8 % | 18.5 % |

④地域で(自治会・自主防災会・NPOなど)

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|----------|
| 男性優遇 計 | 43.4 % | ↓ 42.5 % |
| 平等 | 36.2 % | 30.7 % |

⑥法律や制度の上で

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|----------|
| 男性優遇 計 | 51.7 % | ↓ 43.7 % |
| 平等 | 33.6 % | 30.4 % |

①家庭生活で

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|---------|
| 男性優遇 計 | 61.4% | ↓ 53.2% |
| 平等 | 24.9% | 30.9% |

③学校教育の場で

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|----------|
| 男性優遇 計 | 19.7 % | ↓ 12.6 % |
| 平等 | 63.8 % | 53.7 % |

⑤政治の場で

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|----------|
| 男性優遇 計 | 73.8 % | ↓ 72.3 % |
| 平等 | 15.5 % | 11.8 % |

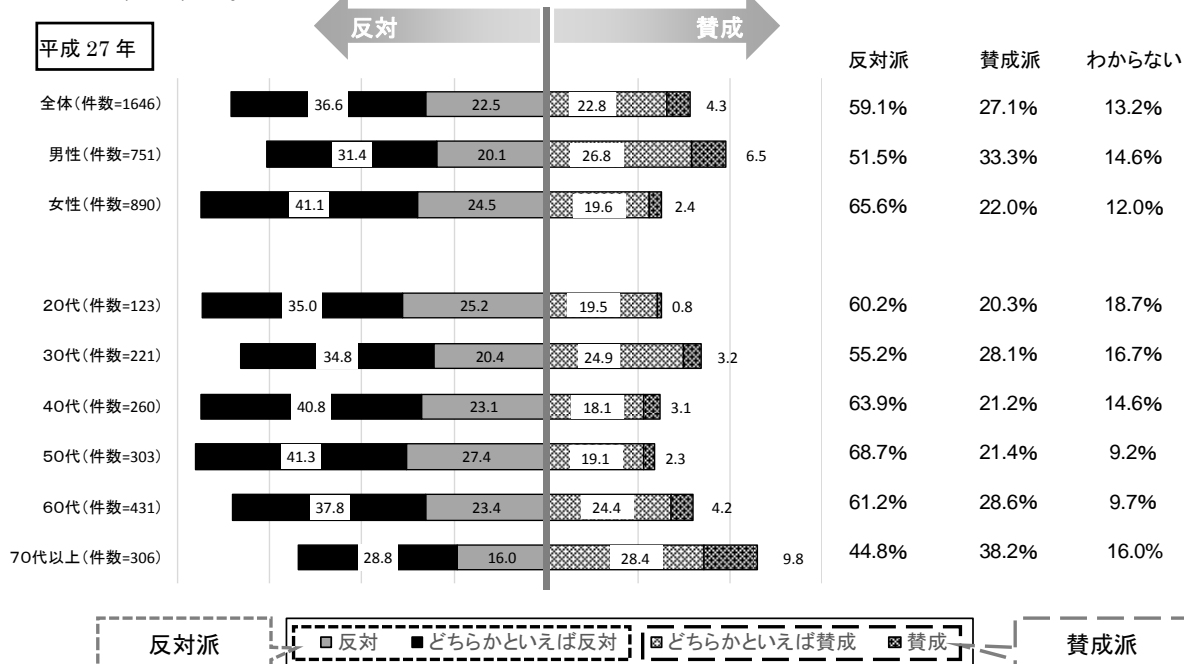
⑦社会通念・慣習・しきたりなどで

| 区分 | 平成 17 年 | 平成 27 年 |
|--------|---------|---------|
| 男性優遇 計 | 75.9% | ↓ 70.6% |
| 平等 | 11.5% | 12.4% |

社会全体で、「男性が非常に優遇されている」6.4%、「どちらかといえば男性が優遇されている」57.8%で、合計“男性優遇”が 64.2%と 6 割以上を占める。各分野別においても、“男性優遇”の分野は多いが、10 年前と比べると、“男性優遇”“不平等感”は減少しつつある。

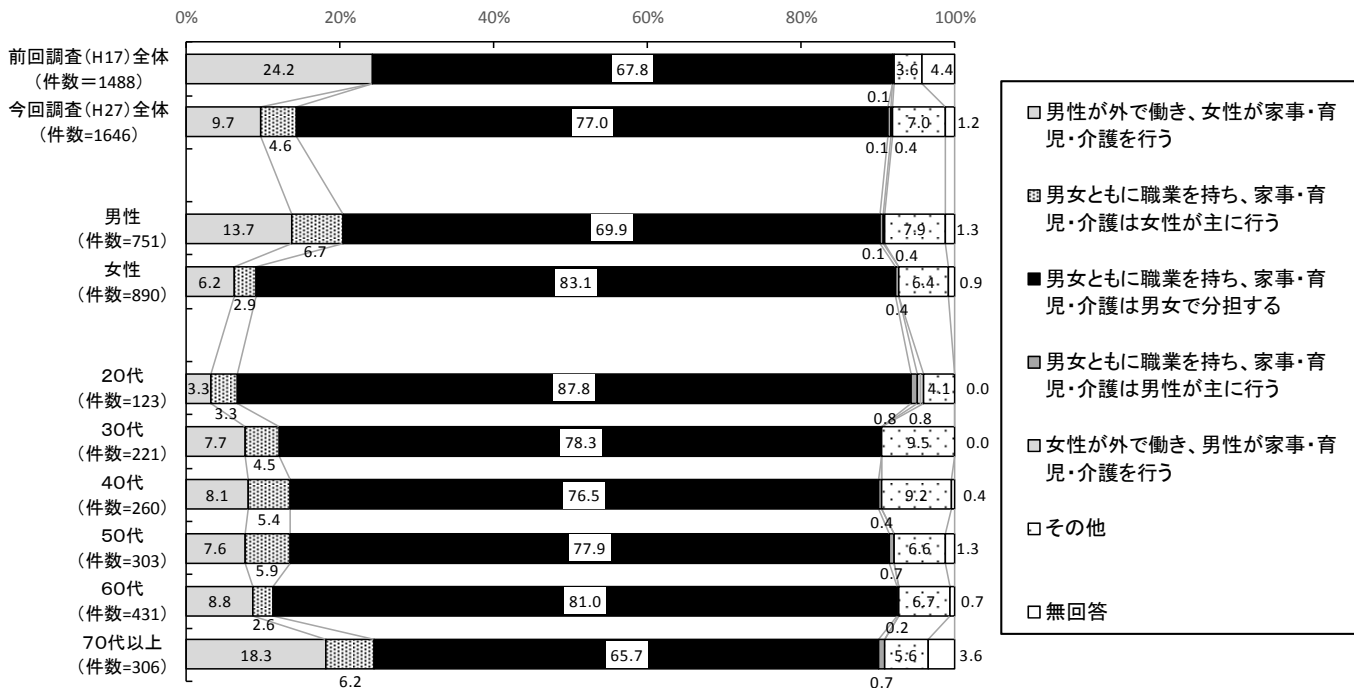
男女の役割分業について

★問3：「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思うか。



男女の役割を固定的に考えることへの意識は「反対派」は 59.1%を占め、男女共同参画意識は進んでいるものの、依然として、男女間での意識の差が見られる。また、年代別にみると、「30代」の子育て世代と「70代以上」では他の年代と比べ「反対派」の割合が低く、「賛成派」の割合が高い傾向にある。これらの層への啓発が必要といえる。

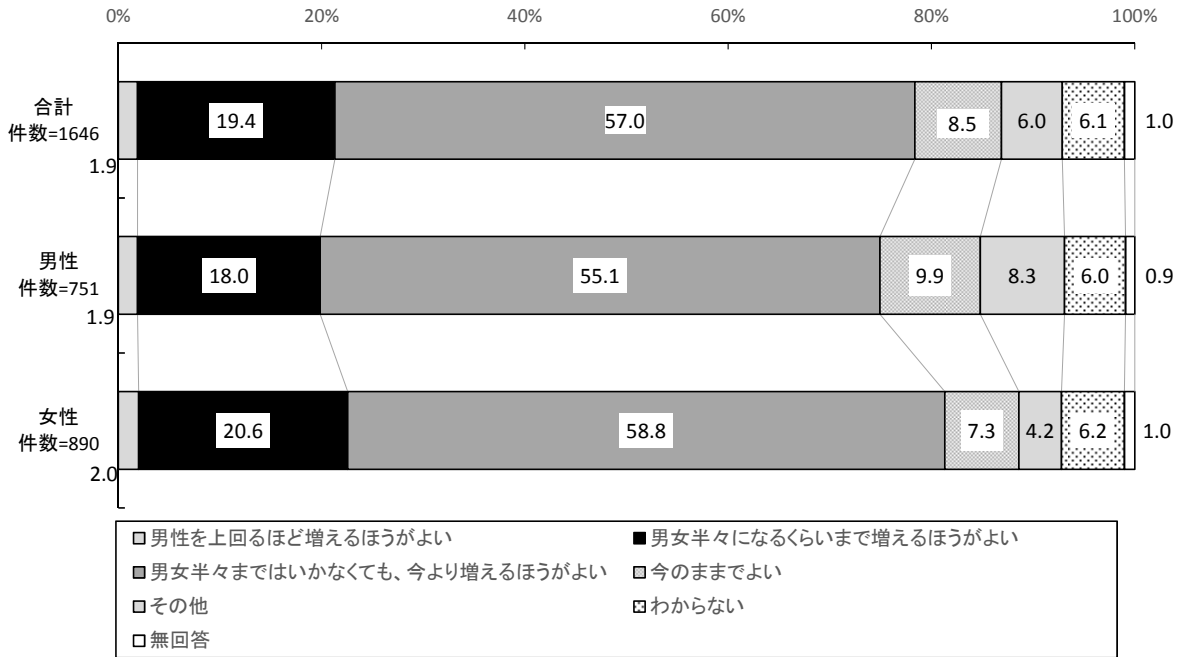
★問4：仕事、家事、育児、介護について男女がどのように関わるべきであると思うか。



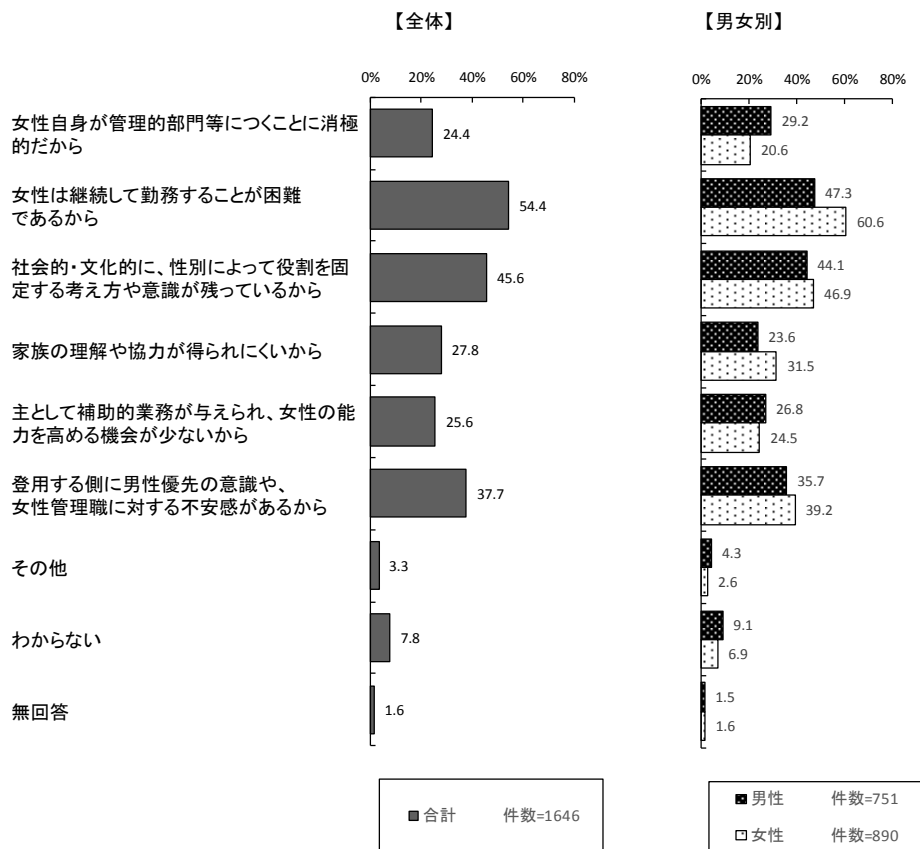
「男女ともに職業を持ち、家事・育児・介護は男女で分担する」が 77.0%を占め、前回調査に比べ増加し、「男性が外で働き、女性が家事・育児・介護を行う」という性別役割分業意識は減少傾向となった。今回より調査した「男女ともに職業を持ち、家事・育児・介護は女性が主に行う」新性別役割分業意識は 4.6%に留まっている。

意思決定の過程への女性の参画について

★問 1 1 意思決定の場に女性が参画することについてどのように考えるか。



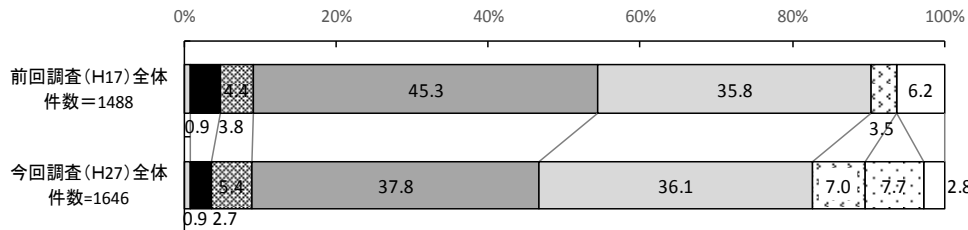
★問 1 2 意思決定を行う場に女性登用が未だ少ない状況理由はどのようなものがあるか。



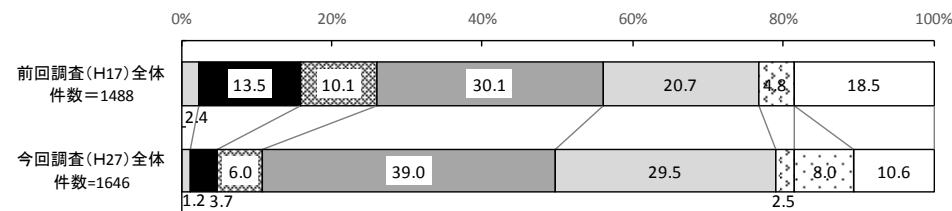
意思決定の場に女性の参画することについては、“今より増えるほうがよい”が半数以上を占める。女性登用が少ない理由については、「女性は継続して勤務することが困難であるから」54.4%、「社会的・文化的に、性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから」45.6%が上位となり、「ジェンダーの意識」が残っている結果となった。

女性が職業を持つことについて

★問 17：一般的に女性が職業を持つことについてどう考えるか。

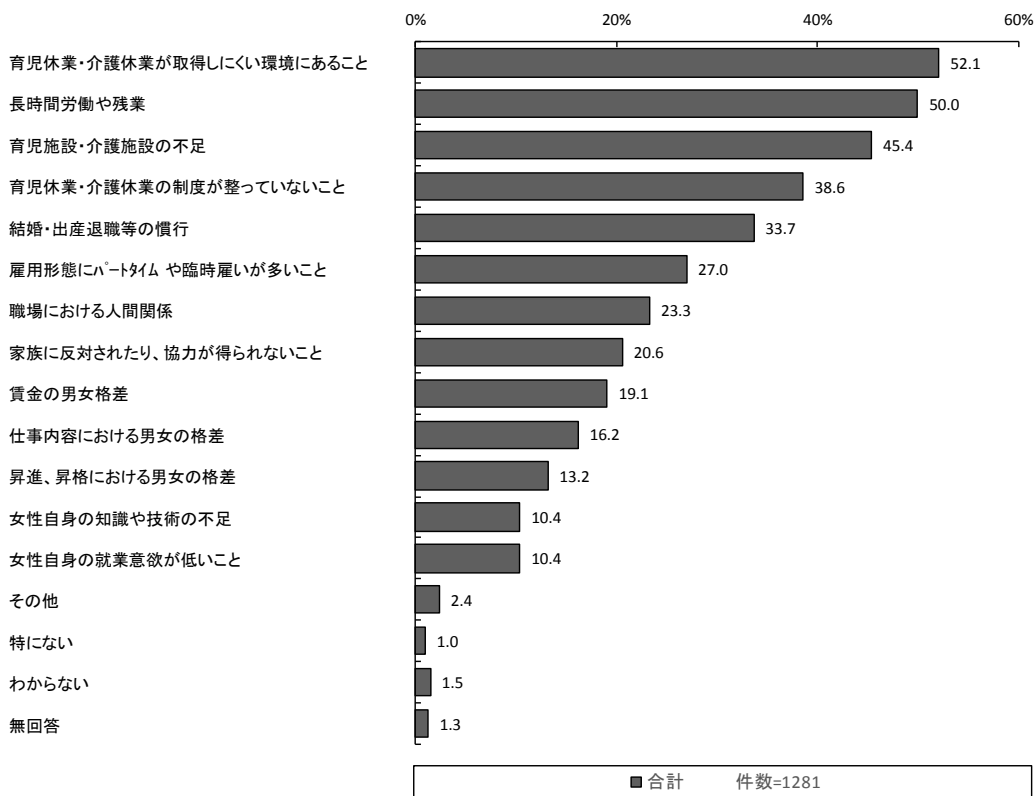


★問 18：現実に女性が職業を持つことについて当てはまるものはどれか。



- 女性は職業を持たないほうがよい
- 結婚するまでは職業を持つほうがよい
- 子どもができるまでは職業を持つほうがよい
- 子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- ずっと職業を続けるほうがよい
- その他
- わからない
- 無回答

★問 19：継続して女性が働く上での障害は何か。

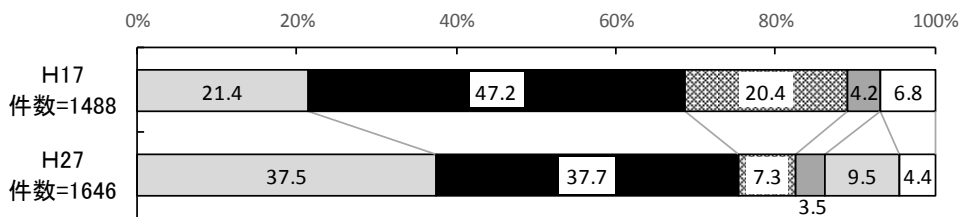


一般的に女性が職業を持つことについては、「ずっと続けるほうがよい」は 36.1%を占め、前回調査に比べ増加。「結婚するまでは職業を持つほうがよい」「子どもができるまでは職業を持つほうがよい」「子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」=“M字カーブ支持者”は減少傾向ではあるものの、半数弱を占める。継続して働くことへの障害としては、「育児・介護休業が取得しにくい環境」や「長時間労働・残業」などが挙げられ、男性中心型雇用慣行の改善は、依然として課題であるといえる。

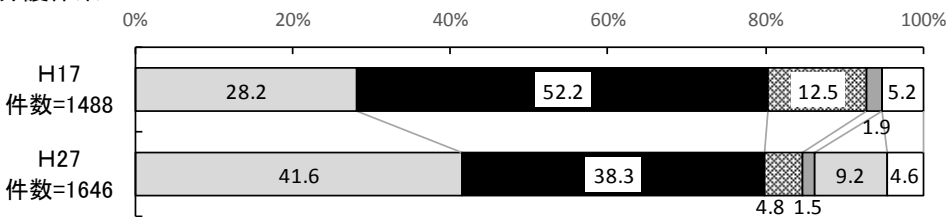
男性にとっての男女共同参画

★問9：男性が育児休業や介護休業を取ることにどう考えるか。

① 育児休業



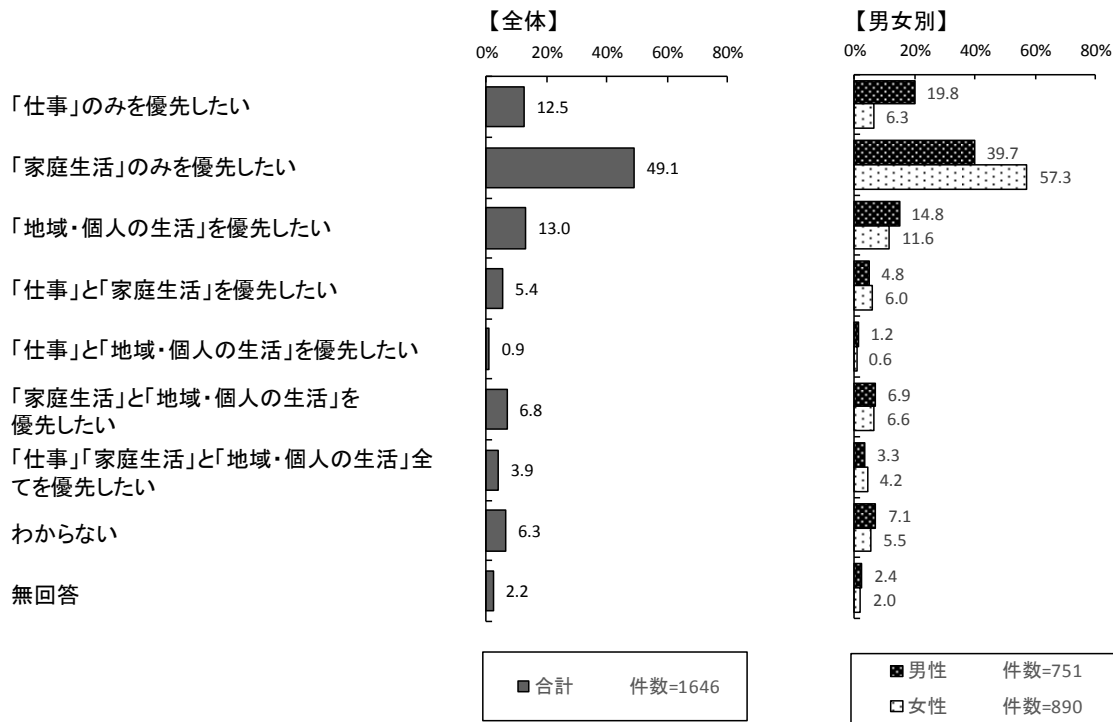
② 介護休業



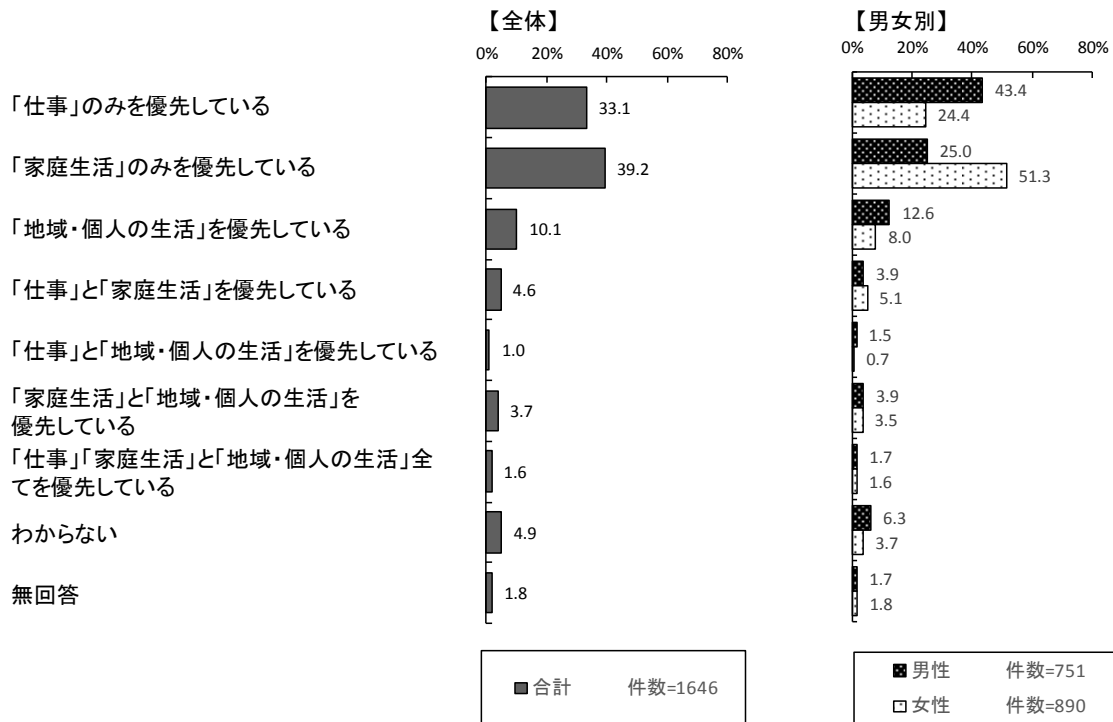
- 積極的に取ったほうがよい
- どちらかといえば取ったほうがよい
- どちらかといえば取らないほうがよい
- 取らないほうがよい
- わからない
- 無回答

男性が、育児休業・介護休業を取得することについては、「積極的に取ったほうがよい」約4割を占め、前回調査と比べて高くなっている。

★問 2 0 : 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い）から、あなたが優先したいものはどれか。（※回答の組み合わせにより作成）



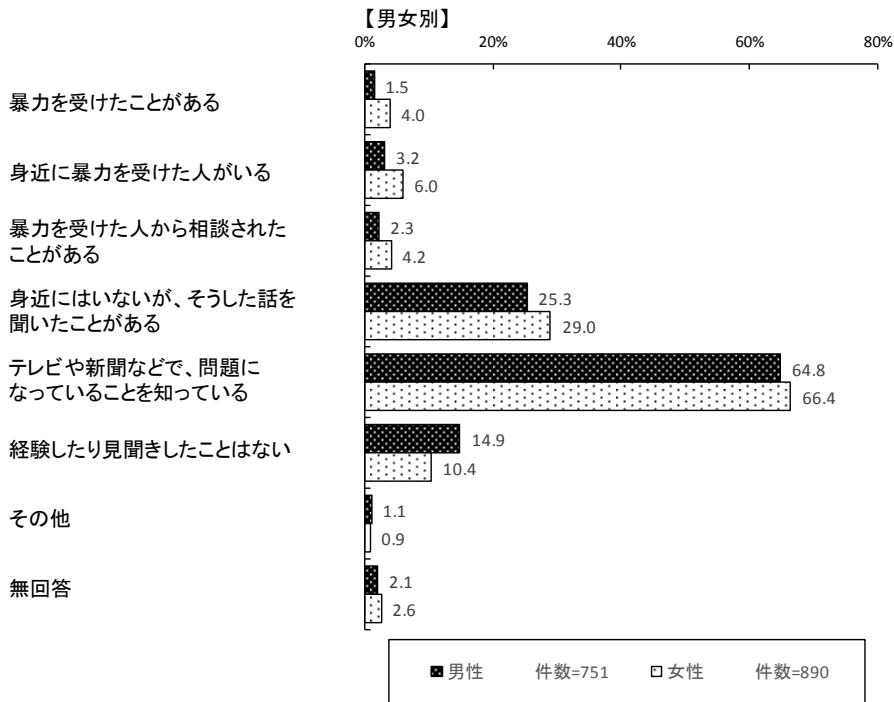
★問 2 1 : 現実（現状）に最も近いものはどれか。（※回答の組み合わせにより作成）



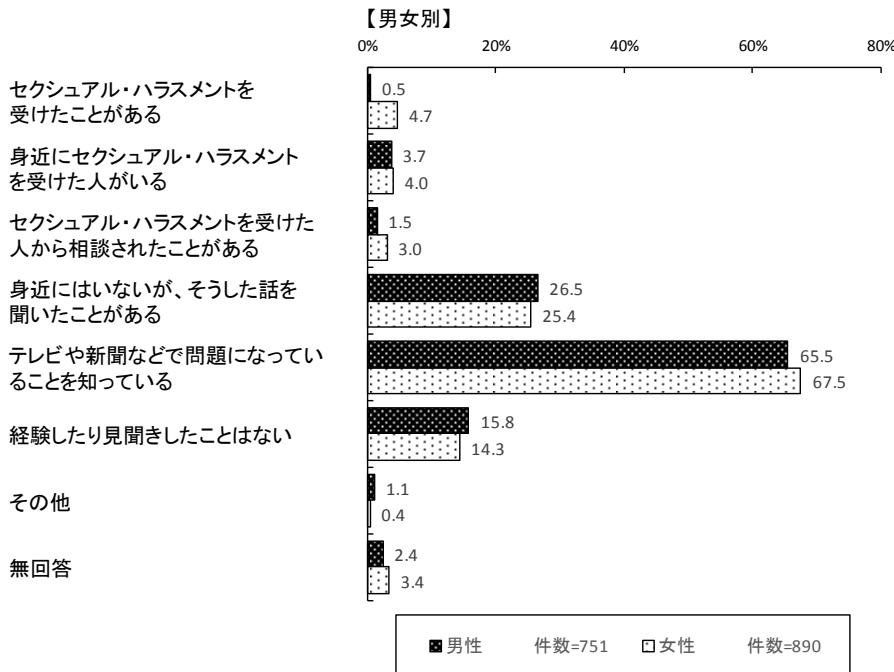
「家庭生活」「仕事」「地域・個人の生活」の希望優先度については、男女ともに「家庭生活を優先したい」割合が最も高い。
 しかし、現実（現状）は、「仕事」を優先する割合が高まり、「家庭生活」を優先する割合は低くなる。特に、男性は「仕事」の優先度が「家庭生活」の優先度を上回る結果となった。

男女間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

★問5：過去1年間に、「夫や妻・恋人など親しい間柄にある男女間の暴力」
（ドメスティック・バイオレンス）について、経験・見聞きしたことがあるか。



★問7：過去1年間に、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験・見聞きしたことがあるか。



過去1年間で、「暴力を受けたことがある」男性 1.5%、女性 4.0%、「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」男性 0.5%、女性 4.7%と、市内にも被害者が出ている。

◎実施方法

- (1) 調査地域 磐田市全域
- (2) 調査対象 市内に在住する満 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 回収状況 有効回収数: 1,646 人(有効回収率: 54.9%)
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔抽出法
- (5) 調査方法 郵送回収
- (6) 調査期間 平成 27 年 10 月 31 日～11 月 23 日

◎回答者の属性

F1 中学校区

| 全体 | 磐田第一中学校 | 城山中学校 | 向陽中学校 | 神明中学校 | 南部中学校 | 福田中学校 | 竜洋中学校 | 豊田中学校 | 豊田南中学校 | 豊岡中学校 | わからない | 無回答 |
|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|
| 1646人 | 189人 | 284人 | 110人 | 129人 | 152人 | 172人 | 193人 | 130人 | 133人 | 107人 | 34人 | 13人 |
| 100% | 11.5% | 17.3% | 6.7% | 7.8% | 9.2% | 10.4% | 11.7% | 7.9% | 8.1% | 6.5% | 2.1% | 0.8% |

F2 性別

| 全体 | 男性 | 女性 | 無回答 |
|-------|-------|-------|------|
| 1646人 | 751人 | 890人 | 5人 |
| 100% | 45.6% | 54.1% | 0.3% |

F3 年代

| 全体 | 20歳～29歳 | 30歳～39歳 | 40歳～49歳 | 50歳～59歳 | 60歳～69歳 | 70歳以上 | 無回答 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 1646人 | 123人 | 221人 | 260人 | 303人 | 431人 | 306人 | 2人 |
| 100% | 7.5% | 13.4% | 15.8% | 18.4% | 26.2% | 18.6% | 0.1% |

F4 職業

| 全体 | 会社員・公務員・その他勤め人 | パート・アルバイト・派遣社員 | 自営業(農林漁業、商工業等) | 専業主婦・主夫 | 学生 | 無職 | その他 | 無回答 |
|-------|----------------|----------------|----------------|---------|------|-------|------|------|
| 1646人 | 612人 | 285人 | 146人 | 221人 | 20人 | 320人 | 30人 | 12人 |
| 100% | 37.2% | 17.3% | 8.9% | 13.4% | 1.2% | 19.4% | 1.8% | 0.7% |

F5 世帯

| 全体 | 単身世帯(ひとり暮らし) | 1世代世帯(夫婦だけ) | 2世代世帯(親と子) | 3世代世帯(親と子と孫) | その他 | 無回答 |
|-------|--------------|-------------|------------|--------------|------|------|
| 1646人 | 139人 | 376人 | 824人 | 261人 | 37人 | 9人 |
| 100% | 8.4% | 22.8% | 50.1% | 15.9% | 2.2% | 0.5% |

F6 未既婚

| 全体 | 結婚している(事実婚を含む) | 結婚していない | 結婚していたが、離婚・死別した | 無回答 |
|-------|----------------|---------|-----------------|------|
| 1646人 | 1217人 | 254人 | 165人 | 10人 |
| 100% | 73.9% | 15.4% | 10.0% | 0.6% |

F7 既婚者の共働きの有無

| 全体 | 共働き(共に会社員・公務員・その他勤め人、または自営業) | 共働き(いずれかがパート・アルバイト・派遣社員) | 共働き(共にパート・アルバイト・派遣社員) | 共働きでない | どちらも働いていない | 無回答 |
|-------|------------------------------|--------------------------|-----------------------|--------|------------|------|
| 1217人 | 279人 | 269人 | 39人 | 356人 | 246人 | 28人 |
| 100% | 22.9% | 22.1% | 3.2% | 29.3% | 20.2% | 2.3% |

F8 子どもの有無

| 全体 | いる | いない | 無回答 |
|-------|-------|-------|------|
| 1646人 | 1272人 | 338人 | 36人 |
| 100% | 77.3% | 20.5% | 2.2% |

F9 末子の年代

| 全体 | 乳児(1歳未満) | 幼児(1歳以上) | 小学生 | 中学生 | 短大・大学生・その他の学生 | 社会人 | 無回答 |
|-------|----------|----------|------|------|---------------|-------|------|
| 1272人 | 25人 | 139人 | 94人 | 120人 | 79人 | 807人 | 8人 |
| 100% | 2.0% | 10.9% | 7.4% | 9.4% | 6.2% | 63.4% | 0.6% |